

平成 27 年度

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー

【自己点検・評価および学校関係者評価報告書】

平成 28 年 3 月

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー

自己点検・評価委員会／学校関係者評価委員会

1 本校の概況

1. 設置者 学校法人 爽青会 理事長 中野勸次郎
2. 学校名 専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー
3. 校長名 中野勸次郎
4. 認可 平成21年3月25日
5. 開校 平成21年4月1日
6. 所在地 〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町 130-38 (Tel) 053-455-2550
7. 課程 文化・教養専門課程

8. 学校の沿革

- | | |
|---------|--|
| 平成7年3月 | 専修学校制度に基づき、専修学校の認可を受ける |
| 平成7年4月 | 専門学校ルネサンス・アカデミー オブ デザイン開設 |
| 平成17年4月 | 専門学校ルネサンス アカデミーに校名変更
総合デザイン学部・動物関係学部を開設 |
| 平成20年3月 | 学校法人爽青会 認可 |
| 平成21年4月 | 専門学校ルネサンス・ペット アカデミー 独立開校 |
| 平成26年3月 | 設置4学科で職業実践専門課程認定 |
| 平成27年4月 | 動物看護・理学療法科で3年制課程開始 |
| 平成28年4月 | ペットエステ・トリミング科3年制新設予定 |

9. 校訓

Every dog has his day. (みんな輝くときが来る)

10. 教育目標

日本人ならではの徳性・人への配慮を最優先し、日本流・環境保全を世界に問う

重点項目

- ・教務部管理職の育成・自律体制の継続
- ・動物看護・理学療法科カリキュラムにおいて「教えない教育」体制を勘案
- ・動物看護・理学療法科の試案として、海外行先・自主選択性を実践
- ・ペットエステ・トリミング科全国大会出場について選手の精神面強化合宿の実施
- ・ドッグトレーニング・ウェルネス科の就職改善カリキュラムの立案・実践
- ・学校飼育動物すべての健康診断の実施
- ・疾病把握、飼育体制の立案をする

11. 設置学科（平成27年度～）

動物看護・理学療法科（昼3年 男女 定員40名）

ペットエステ・トリミング科（昼2年 男女 定員40名）

ドッグトレーニング・ウェルネス科（昼2年 男女 定員40名）

動物海洋飼育・アクアリウム科（昼2年 男女 定員40名）

マスター科（昼1年 男女 定員5名）

12. 学生数（平成28年2月1日現在） 214名

13. 教職員数（平成28年2月1日現在） 51名

14. 学校建物面積 1860㎡

2 自己点検・自己評価委員会

1) 委員名簿

1. 学校長 中野勘次郎 (委員長)
2. 事務局 鈴木博昭
3. 事務局 早房陽
4. 教務部 稲葉梨紗
5. 教務部 長瀬加津也

・監査委員

1. 事務局長 藤原研一
2. 事務局 中野良太

2) 自己点検・自己評価制作の流れおよび委員会開催記録

平成27年12月8日 制作方針に関する担当者会議

平成27年12月21日 制作方針決定

平成28年1月13日 自己点検・評価委員会 第1回制作会議

平成28年1月20日 自己点検・評価委員会 第2回制作会議

平成28年2月3日 自己点検・評価委員会 内部監査

平成28年5月7日 設置者への報告

平成28年5月14日 ホームページにて外部への公開

3 学校関係者評価委員会

1) 委員名簿

1. 阿部 徹 元静岡県教育長
2. 鈴木 かおる 株式会社浜松ビジネススクール 代表
3. 安武 伸朗 UX (User Experience) Shizuoka 代表
4. 原 大二郎 公益社団法人日本動物病院協会 副会長

2) 開催日・場所

平成28年2月29日 専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー401教室にて開催

4 評価一覧

	評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検 自己評価	学校関係者 評価
1 教育理念・目標	① 理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4	4
	② 学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	4	4
	③ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	4
	④ 学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	4
	⑤ 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	4
2 学校運営	① 専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4	4
	② 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	4
	③ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4
	④ 目的等に沿った事業計画が策定されているか	3	3
	⑤ 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	4
	⑥ 人事、給与に関する制度は整備されているか	4	4
	⑦ 教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4	4
	⑧ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	3
	⑨ 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	4
	⑩ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4
	⑪ 教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4	4
	⑫ 学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順（予防処置及び是正処置）を確立しているか	3	3
	⑬ 利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4	4
3 教育活動	①教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3	3
	②キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	4
	③教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	4
	④動物関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4

	⑤資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
	⑥学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
	⑦Can-Do を意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	3	3
	⑧動物関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	4
	⑨シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	4	4
	⑩実習室等の学校施設、設備の利用割り当て（スケジュール管理）が明確になっているか	4	4
	⑪学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	3	4
	⑫成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	4
	⑬職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4
	⑭授業評価の実施・評価体制はあるか	3	3
	⑮閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4	4
	⑯教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況（学習環境等）を確認・検証しているか	4	4
	⑰人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
	⑱教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	3	3
	⑲関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	4
	⑳職員の能力開発のための研修等が行われているか（研修等の効果の評価し、文書により記録しているか）	4	4
	㉑動物関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3	4
4 学 修 成 果	①学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4	4
	②卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	4
	③評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	3	4
	④学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	3	3
	⑤成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4	4
	⑥ニーズ調査結果に基づき目的（到達目標）を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4	4
	⑦学習サービス（教育・訓練）を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	3	3
	⑧卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	4

5 学生支援	①進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
	②学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
	③保護者と適切に連携しているか	4	4
	④社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	4
	⑤卒業生への支援体制はあるか	3	3
	⑥図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	4
	⑦学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	4
	⑧学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
	⑨課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
	⑩学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
	⑪高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4
6 教育環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
	②学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	3	3
	③教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	3	3
	④防災に対する体制は整備されているか	4	4
	⑤学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
7 学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行われているか（例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか）	4	4
	②履歴書（学歴、所有資格など）を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4	4
	③学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4	4
	④学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	4
	⑤学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4
	⑥評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4	4
	⑦学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4	4
	⑧教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4	4
	⑨学納金は妥当なものとなっているか	4	4
	⑩志願者状況、定員充足率はどうか	2	

8 教育の内部質保証システム	①個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4
	②法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
	③文書管理規程、文書管理リスト（ファイル管理簿）ならびに決裁の流れを含む決裁規程（文書処理規程）が文書化されているか	2	2
	④自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	4	4
	⑤監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4	4
	⑥内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	3	3
	⑦内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	3	3
	⑧自己点検・評価結果を公開しているか	4	4
9 財務	①財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
	②財務情報公開の体制整備はできているか	4	3
	③中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2	4
	④予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
10 社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
	②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4
	③地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	4
11 国際交流（必要に応じて）	①留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか		
	②留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	4
	③留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	4
	④学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	4

5. 評価の理由とコメント

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
1 教育理念・目標	1 理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	理念等を定めた上で、原点確認研修で教職員へ、学生必携で学生へ周知を図っている	4	・参加させていただく学校行事を通じて私共にも伝わってくる(鈴木)
	2 学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	4	教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会を開催し、また企業訪問や業界団体との連携により、業界動向やニーズを調査している	4	・準備、計画、リサーチなど高レベルで行っている(鈴木)・毎年詳細な調査が行われていると思います(安武)
	3 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	業界動向・ニーズの調査や学生からの授業評価等を基に、学科運営計画を立て、各科目のシラバスを作成している	4	・業界と現場を双方向からみている(鈴木)
	4 学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	動物系の職種として本校が実践教育を展開する学科を4つに分類し、学校を設置、運営している	4	・可視化が明確、明瞭になっている(鈴木)・デザイン、ペット共通した教育理念を持っている(原)
	5 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	学生・保護者への周知は入学前のオープンキャンパスや入学後の説明会、オリエンテーションにて、複数回実施し周知を図っている	4	・様々な社会をとらえて理解周知に努めている(安倍)・保護者参加率の高さ(鈴木)

① 課題

教育理念等は明確に定められ、文書等で教職員並びに学生へ提示、説明、実施されている。

② 今後の改善方策

継続実施する。

③ 特記事項

爽青会オリジナルの「伸びシロのある人材養成プログラム」を2016年度中に構築し、2017年度からの運用を目指す。

《学校関係者評価委員会での意見》

2 学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか

教育課程編成委員会の開催等を通して、毎年詳細な調査が行われている。

5 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか

入学前後の様々な機会をとらえて、学生、保護者に対して理解周知に努めている。

	評価項目： 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
2 学校運営	1	専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4	必要な学則変更を適宜実施し情報公開を更新しつつ、専修学校設置基準並びに職業実践専門課程認定要件に沿った運営をしている	4	
	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	就業規則内で定める運営組織や意思決定機能を校務分掌に落とし込み、適切に機能させている	4	・ISOの条件に明文化はなっていないものの、デザインアカデミーと目標に明文化を目指すべきではないか(安倍)
	3	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	財務に関しては経理規程で、教務に関しては主として学科運営方針にて、意思決定システムを整備している	4	
	4	目的等に沿った事業計画が策定されているか	3	事業計画策定は理事会・評議員会にて行われているが、計画書として残されていない。	3	・資料議事から密度高い策定が実施されていると感じる(鈴木)・左記理由に納得しました(安武)
	5	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	計画書は無いが、運営計画は学校長の承認を経て実施されているため、評価は4とした。	4	・期生毎に課題と対策がとられている(原)
	6	人事、給与に関する制度は整備されているか	4	賞与、昇格等の規定を人事制度マニュアルにおいて整備している	4	
	7	教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4	年に2回全体講師会を開催し、意思統一を図るとともに、毎回の授業においては授業報告書をもって情報のリアルタイムな共有を図っている。	4	・生徒が担任ではない非常勤だから話せることもありフィードバックが完全ではない(鈴木)
	8	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	学校関係者評価・高校訪問等フィードバックの収集・分析・応答のシステムは確立。苦情などに対応するためのマニュアルを策定するが、職員間の共有が出来ていない	3	・同等に対応できるよう共有してほしい(鈴木)・左記に納得しました(安武)
	9	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	職業実践専門課程認定条件に準拠した情報公開を公式ホームページで展開している	4	
	10	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	学内グループウェアの活用ならびにサーバ管理システムにより、業務効率化が図られている	4	
	11	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4	月に1回の経営会議内において、教育の現状把握・分析とともに学校運営の仕組みそのものについても見直しを図っている	4	
	12	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	3	前年度の第三者評価で指摘のあった「予防処置及び是正処置規定」を策定済。しかし、職員間の共有が出来ていない。	3	・職員会の共有、同じレベル対応を目指してほしい(鈴木)・左記に納得しました(安武)・予防、是正処置が確立していれば良い(原)

13	利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4	担任への相談や就職相談、カウンセリングなど、学生必携内に相談受け付け方法を明記し、オリエンテーションにて周知している	4	
----	--	---	--	---	--

① 課題

利害関係者からの苦情や要請に対して、是正処置及び予防処置規定、問い合わせ等対応マニュアルを策定したが、職員間の共有が不十分

② 今後の改善方策

是正処置及び予防処置規定、問い合わせ等対応マニュアルを職員間で共有し、事項が生じた段階で報告書の記載、効果の確認、レビュー

③ 特記事項

是正措置及び予防措置規定、問い合わせ等対応マニュアルは2016年1月25日作成、翌25日承認。

《学校関係者評価委員会での意見》

7 教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか

講師会や授業報告書での情報共有は確認したが、学生が担任ではない非常勤講師だから話せることもあり、常勤講師と非常勤講師間のフィードバックが完全ではない。

12 学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立し

予防、是正処置が確立しており、教職員間で共有の上、実際の運用に期待する。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3	家庭学習を含めた授業時間以外の時間をシラバスに明記する事が出来ていない。2016年度から改善。	3	
2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	変化の速い業界動向に対し、常に最新の情報を得るべく、有識者による意見を聴取する場としての教育課程編成委員会を開催している	4	
3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	策定、実施されているが、評価方法に改善の必要がある為、評価は3とした。	4	
4	動物系関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	教育課程編成委員会で得た意見や指摘を年度後期または次年度に反映し、必要に見直しを行っている	4	
5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	特に必修受験資格に関しては、授業内に対応科目を配置し指導している	4	
6	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	専門講義科目、専門実習科目、一般科目に分類し、教育目的に沿い、実習と講義のバランスがとれたカリキュラムを編成している。	4	

3
教育活動

7	Can-Doを意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	3	授業毎にばらつきがあるため、2016年度から改善。	3	・重要な項目(視点)のように思います(安武)
8	動物系関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	1年次末、2年次夏の計2回、3年生学科においては3年次中にもインターンシップを全学生が実施している	4	
9	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	4	各授業開始時の授業オリエンテーションにおいて、各講師から配布し説明している	4	
10	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	4	授業名、担当者、使用教室、授業時間を明記した時間割表を作成し、講師会資料等で共有している	4	
11	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	3	テキスト/教材・成果等の項目を追加する必要がある。仮版作成済み、2016年度から実施する。	4	
12	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	学生においては学生必携内に成績評価、進級規程等を明確に記載し、周知している	4	
13	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	インターン実習における実習評価を実習受け入れ先に依頼し、学生指導並びに職業教育の策定に活用している	4	
14	授業評価の実施・評価体制はあるか	3	評価に関与する、又は影響を受ける利害関係者が特定される形で、学生からの評価(アンケート)が実施されている。教員からの評価は、新任教員研修の一環として行われているが、その後の定期的な実施は無い。また非常勤講師に対しても行われていない。	3	・授業力の向上を目指すために常勤、非常勤講師が互いに授業を見せ合い評価することも必要か(安倍)・生徒主役の授業のため自己、他己評価は必須。取組計画を必ず実施してほしい(鈴木)・左記に同感です(安武)
15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4	就業規則や講師契約書に個人情報の保護に関する規程を設け、またデータ等はアクセス制限を設け個人情報保護に配慮している	4	
16	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	4	講師の意見を授業報告書から、学生の声を授業アンケート等から集め、定期的に開催する教務部会で学習環境等の確認を確認・検証している	4	
17	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	コア・コンピテンシーについて言及した職務記述書を作成済。	4	
18	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	3	職務記述書は作成したが、それについての評価は行われていない。	3	・左記に同感です(安武)
19	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	教員のキャリアに応じて、専門実務研修並びに指導力研修を実施している	4	・研修体系をマトリックスして講師に示すことも一考を。(もとめられるスキル、専門性)(安部)

20	職員の能力開発のための研修等が行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	4	開催している教員研修に関しては参加者からの報告書によって、研修成果等を記録している	4	
21	動物系関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3	加盟団体から、特別講師の紹介は受けているが、加盟団体からの常勤講師に関するマネジメントは行われていない。	4	・左記に同感です(安武)

① 課題

- A: シラバスに自主学習時間の設定、Can-Doを意識したシラバス構成がなされていない。
 B: 授業アンケートにテキスト、教材、成果等の評価項目が不足している。
 C: 新任教員研修の一環として授業評価が行われているが、その後の定期的な実施は無い。また非常勤講師に対しても行われていない。

② 今後の改善方策

- A: 自主学習時間の設定、Can-Doを意識した目標設定を、シラバス作成フォームに追記する。(作成中)
 B: 授業アンケートにテキスト、教材、成果等の評価項目を追加し作成済み。次年度より実施する。
 C: 授業アンケート後に授業評価会議を実施し、常勤・非常勤講師に対する授業評価を実施する。(企画書作成済み)

③ 特記事項

新設の3年制学科の完成年度を迎えるまでの間は、教育活動の体系化に際し、業界のニーズを常時収集し、カリキュラムの充実、学校行事の効果的配置に活用する。

《学校関係者評価委員会での意見》

14 授業評価の実施・評価体制はあるか

常勤講師、非常勤講師が共に授業力の向上を目指すために、互いに授業を見せ合い評価することも必要と思われる。

19 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか

講師に求められるスキル・専門性に配慮した、研修体系をマトリックスして講師に示すことも一考してはどうか。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
4 学 校	1 学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4	成績表は各科目のA～D評価に加え、授業を横断した能力別マトリクス評価を実施している。また進級卒業判定会議を開催し、卒業資格等の確認をして上で進級卒業を判定している	4	・デザイン校と同等の感想をもった(安武)
	2 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	動物病院訪問により、卒業生および在校生(インターンの様子)の評価を収集しているが、病院訪問の都合上、情報収集が結果的にサンプル形式となり、活躍や評価を網羅的に把握できていない。卒後アンケートの実施は効果的であるが、現状ではVN科のみの実施に留まる。	4	・在校時に卒業後アンケートを事前に予告しておくといいか(安倍)
	3 評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	3	評価項目一覧が作成されていない為、評価は3とした。	4	・在校時に卒業後アンケートを事前に予告しておくといいか(安倍)・作成準備に取り組んでいるため(鈴木)
	4 学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	3	評価項目一覧が作成されていない為、評価は3とした。	3	・在校時に卒業後アンケートを事前に予告しておくといいか(安倍)・作成準備に取り組んでいるため(鈴木)

成果	5	成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4	成績証明書、卒業証明書、在学証明書等は学生の就職活動や資格試験に支障がないよう、社会的通用性を持った様式で作成している	4	・在校時に卒業後アンケートを事前に予告しておくといいか(安倍)
	6	ニーズ調査結果に基づき目的(到達目標)を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4	各学科ごとに年間の教育運営を年度末にまとめた上で、新年度の計画を「学科運営計画書」としてまとめている	4	・在校時に卒業後アンケートを事前に予告しておくといいか(安倍)
	7	学習サービス(教育・訓練)を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	3	学習サービスの委託に際して、シラバスの中に最終目標や要件の記載が無く、明確でない。	3	・在校時に卒業後アンケートを事前に予告しておくといいか(安倍)・今後の課題であり、業界の受け皿の指導もあり教育機関だけでは難しい難題(原)
	8	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	卒業後の学生の状況把握は学科ごとにばらつきがある。	4	・在校時に卒業後アンケートを事前に予告しておくといいか(安倍)

① 課題

A: 動物病院訪問により、卒業生および在校生(インターンの様子)の評価を収集しているが、病院訪問の都合上、情報収集が結果的にサンプル形式となり、活躍や評価を網羅的に把握できていない。卒業後アンケートの実施は効果的であるが、現状ではVN科のみの実施に留まる。

B: 学習サービスの委託に際して、シラバスの中に最終目標や要件の記載が無く、明確でない。

② 今後の改善方針

A: 全学科において、企業訪問計画を工夫し情報収集が網羅的になるよう企画するとともに、場合によってはアンケート等の文書を活用した情報収集をし、活躍および評価の把握に努める。

B: 学習サービスの委託に際して、最終目標や要件をシラバスに記載する。

③ 特記事項

なし

《学校関係者評価委員会での意見》

2 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

卒業生に対するアンケートの実施に際しては、在校時に卒業後アンケートの実施を事前に予告しておくといいかと思われる。

7 学習サービス(教育・訓練)を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか

特にインターンシップにおいては業界の受け皿となる企業の指導体制もあり、教育機関だけでは難しい難題であり、今後の課題である。

	評価項目: 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	学生必携、就職説明の項で就職活動の支援体制や各種書類について説明している。学生の就職状況に関しては定期的に会議を開催し、情報共有を図っている	4	
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	クラス担任への相談や就職担当への就職相談に加え、学校カウンセラーによる相談を受け付け、学生・保護者双方の相談対応をすすめている	4	

5 学生 支援	3	保護者と適切に連携しているか	4	特に就職に関しては、就職保護者会や3者面談等を通じ学校と家庭との連携を密にし、ミスマッチのない就職指導をしている	4	
	4	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	本校での正規課程の履修を終えた学生の更なる学習機会として、1年間の「マスター科」を設置している	4	
	5	卒業生への支援体制はあるか	3	卒業生加入の校友会組織、卒業生向けのFacebookページより卒後セミナー等告知は実施しているが、卒後セミナーは学科により差がある。また卒業生対象の学校求人を紹介する仕組みが整っていない。/卒後2～3年アンケートの必要性の検討。	3	・卒業してからも連絡、相談を頂く。学校として生徒を大切にしているので卒業生にとっても支援体制が良い印象にあるのだと思う(鈴木)・左記に同感です(安武)
	6	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	学生が利用できるPC等学内施設やカウンセリングサービス、図書サロンの活用のため、オリエンテーション等で周知している	4	
	7	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	優遇制度により学生を顕彰するとともに、学生課より奨学金の案内や教育ローン、学費サポートプランなどを学生、保護者ともに案内している	4	
	8	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	学生健康診断を年度当初に適切に実施している。特に動物アレルギーへの対応を様々な角度から実施している	4	
	9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	部活動や課外活動など、学生の課外活動を履修に支障がない範囲で支援し、一部は成績書等に記載している	4	・専門学校ではあるものの、人格的要素を育む場は大変重要かと思います(安武)
	10	学生の生活環境への支援は行われているか	4	定期的に学生との個別面談を実施し、学生の生活環境を聞き取り、必要な助言を担任や学科長等から伝えている	4	
	11	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	高校内で実施される職業説明会等に積極的に参加し、高校内でのキャリア教育との連携を図っている	4	

① 課題

卒業生に対する支援として、卒業後セミナーの実施や問い合わせのあった者に対する個別の求人紹介は実施しているが、卒業生対象求人を卒業生に紹介する仕組みは構築されていない。

② 今後の改善方策

卒業生対象求人を卒業生に紹介する仕組みの構築。

③ 特記事項

キャリア教育での学校種間連携に関して、静岡県西部エリアの専門学校が中心となり、職業体験ガイダンスを企画実施予定。小・中学生の職業理解の場をつくる。

《学校関係者評価委員会での意見》

5 卒業生への支援体制はあるか

卒業してからも卒業生から連絡、相談を頂いている。学校として学生を大切にしているからこそ、卒業しても支援体制が良いという印象になるのだと思う。

9 課外活動に対する支援体制は整備されているか

専門学校ではあるものの、専門性に関する指導に留まらず、人格的要素を育む教育の場は大変重要である。

	評価項目： 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
6 教育環境	1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4	既存設備の保守点検とともに、教育内容の変更・進化に伴う新設備の導入をすすめ、教育環境を常に刷新している	4	・大変素晴らしい内容である(原)
	2 学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	3	点検を外部委託しているものは定期的な管理・点検が実施されているが、管理についてのチェックリストが不十分である。	3	・納得しました(安武)
	3 教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	3	地震を想定した避難訓練は実施されているが、火災を想定した訓練は実施されていない。	3	・デザインが火災訓練を実施することで教職員の意識が高まる(鈴木)
	4 防災に対する体制は整備されているか	4	災害備蓄品の備え、学生避難訓練の実施、学校飼育動物への対応など、防災体制を整備している	4	
	5 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	インターン実習や国内研修、海外授業など、学外で行われる教育活動の前には直前セミナー等を実施し、安全な実習ができるよう指導している	4	

① 課題

- A: 点検を外部委託しているものは定期的な管理・点検が実施されているが、管理についてのチェックリストが不十分である。
- B: 地震を想定した避難訓練は実施されているが、火災を想定した訓練は実施されていない。

② 今後の改善方策

- A: 教務で点検を行う備品リスト、及び適切な期間について教務部会にて検討し、チェックリストを作成する。
- B: 火災を想定した訓練の実施について、教務部会にて検討し、実施する。抜き打ち訓練の実施も併せて検討する。

③ 特記事項

なし

《学校関係者評価委員会での意見》

1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか

学校見学もさせていただいたが、大変素晴らしい内容の設備が整っている。

3 教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか

火災訓練を実施することで、これまで以上に教職員の意識が高まる。

	評価項目： 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント

7 学生 の 受 入 れ 募 集	1	学生募集活動は、適正に行われているか(例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか)	4	AO入試、推薦・一般入試ともに、入学願書の提出を必須とし、その他出願資料と合わせて適切に管理している	4	
	2	履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4	入学願書、出願書類により入学資格の有無などを正しく把握できる体制をとっている	4	
	3	学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4	募集要項を作成し、入学資格および受験方法を記載し、適切に周知を図っている	4	
	4	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	学生募集要項内に、学費等の一覧および納入期限等を明記し、受験者並びに保護者が学費等に対し正しく理解されるよう配慮している	4	
	5	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	学校案内パンフレットにおいて、教育概要を伝えつつ、「就職先内定速報」を作成・配布し教育成果の発信に努めている	4	
	6	評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4	学生必携において、学校から発行される証明書の種類や手続き方法などを記載し、オリエンテーション等で説明している	4	
	7	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4	入学試験において、履修上、就職上支障となる志願者の事情を確認し、履修に不具合がないように配慮している	4	・特別な支援を必要とする学生への今以上の対応をお願いしたい(安倍)
	8	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4	入学前オープンキャンパス内での保護者説明会、入学直後の説明会、年1~2回の保護者会にて、保護者に対し学校の取組等を説明している	4	
	9	学納金は妥当なものとなっているか	4	入学金、授業料等に加え、教材費等在学中に必要な経費を募集要項内に記載し、学費に関する理解を図っている	4	

① 課題

学生の受け入れ募集は全般を通じて適切に企画・運営されている。一部のオープンキャンパスにおいて、参加者が非常に多いため、個別相談や詳細説明をし尽せない場合がある。

② 今後の改善方策

オープンキャンパスの学科別実施および日程の2分化等で、志願者が相談しやすい体制づくりを進める。

③ 特記事項

なし

《学校関係者評価委員会での意見》

7 学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか

障がい等の特別な支援を必要とする学生に対して、今以上の対応をお願いしたい。

	評価項目： 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
8 教育の内部質保証システム	1 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	就業規則内に機密保護管理規定を設け、個人情報保護に努めている	4	
	2 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	教員数、教室数、学生管理等、専修学校設置基準に準拠した運営を進めている	4	
	3 文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか	2	文書管理規定を現在作成中。 各機密文書に「機密文書」とわかるように刻印等をつけるなど、明確化することが必要。	3	・作成中であること、機密文書管理規定があること(鈴木)・左記理由の通りかと思えます(安武)
	4 自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	4	自己点検非担当者による内部監査を実施し、自己点検・評価の問題点等の改善を抽出している	4	
	5 監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4	研修修了者による監査を実施し、責任者に対して結果の報告を行う体制となった。	4	
	6 内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	3	是正処置及び予防処置規定に則った形で運営されることで明確化されるが、規定の共有がなされていない。	3	・課題を把握している(鈴木)・左記理由に納得しました(安武)
	7 内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	3	是正処置及び予防処置規定に則った形で運営されることで明確化されるが、規定の共有がなされていない。	3	・課題を把握している(鈴木)・左記理由に納得しました(安武)
	8 自己点検・評価結果を公開しているか	4	公式ホームページ内、学校情報ページにて過去のものも含めて公開している	4	

① 課題

文書管理規定は現在作成中である。また、機密文書には機密文書であることが明確となるような刻印等をつけることが望ましい。

② 今後の改善方策

文書管理規定の早期作成と、機密文書の明確化を実施し、機密文書とそうでないものが明確になるように管理する。

③ 特記事項

なし

《学校関係者評価委員会での意見》

6 内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか

是正処置及び予防処置規定に則った形で運営されることで明確化されるが、規定の共有はなされていないという課題を、正しく把握してい

	評価項目：	自己点検・自己評価	学校関係者評価
--	-------	-----------	---------

		適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1		評価		評価の理由		評価		コメント	
9	財務	1	財務について会計監査が適正に行われているか	4	会計監査を毎年実施し、監査報告書として文書で記録している	4		4			
		2	財務情報公開の体制整備はできているか	4	決算後、財務状況を公式ホームページ内学校情報ページにアップしている	4		4			
		3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2	学生数が安定しており、中長期的に安定した財務基盤といえる	4		4			
		4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	収支計画、予算の策定など有識者による助言をもとに適切に作成し、実行している	4		4			

① 課題

会計監査、財務情報公開は適切になされており、また財務基盤は中長期的に安定しており問題はないが、前年度比較での減収化には歯止めがかかっていない。

② 今後の改善方策

今後も適切な運営を継続し、学校の持続可能な成長を続ける。

③ 特記事項

なし

《学校関係者評価委員会での意見》

なし

		評価項目： 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1		自己点検・自己評価		学校関係者評価	
				評価	評価の理由	評価	コメント
10	社会貢献・地域貢献	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	地域の中学生の職業体験の受け入れ、社会人向けの「卒業後セミナー」を定期的開催している	4	
		2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	募金活動への協力や地域の動物愛護への取り組みに対し、学生ボランティア組織を支援している	4	
		3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	主に認定動物看護師向けのセミナーを夜間に年数回開催し、動物看護師在職者を支援している	4	

① 課題

近隣中学生の職場体験の受け入れや地域動物看護師に対する卒業セミナーの実施等を通じ、社会や地域に貢献する活動を実践している。

② 今後の改善方策

現状の活動を継続しつつ、別の形での社会貢献や地域貢献を模索し、学生が活躍し成長できる場を発掘する。

③ 特記事項

なし

《学校関係者評価委員会での意見》

なし

	評価項目： 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1		自己点検・自己評価		学校関係者評価	
			評価	評価の理由	評価	コメント
1 国際交流 (必要に応じて)	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか				
	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	入国管理局等との連携をとり、適切に管理している	4	
	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	留学生担当教員を設置し、クラス担任との連携の上で留学生の生活指導等を実施している	4	
	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	卒業年次の海外授業において、日本での学習成果を海外の事業所等で発表するなどの機会を設けている	4	

① 課題

開校以来11年連続で実施している海外授業は、年々現地プログラムが進化している。受入施設の状態(主として政情や担当者の変更)を考慮した企画運営が必要であり、学生への情報伝達の時期にはずれが生じる。

② 今後の改善方策

旅行代理店及び現地コーディネーターとの連絡を密にし、安全を基本としつつ前年以上に充実したプログラムを実践できるよう毎年見直しと改善を続ける。

③ 特記事項

留学生の受け入れや派遣は、学習言語の点及び卒後の進路指導での制限(就職)の関係上、積極的に行っていない。

《学校関係者評価委員会での意見》

なし